

# 21世紀をになう子どもたちのために

## —豊かな心を育もう 自分らしく生きる力を—

2023/10/14

### 第70回愛知父母と教職員の会

10月14日、保護者と教職員、約240人の参加のもと、愛知父母と教職員の会が開催されました。全体会では、ジェンダー平等教育の提案及びプロフィギュアスケーター鈴木明子さんの講演が行われました。その後、それらを受けて分散会で討議が行われ、保護者と教職員が、子どもたちの健やかな成長を願い、熱心に語り合いました。

#### 講演会

演題：「ひとつひとつ、少しずつ。～夢を諦めない晩成力～」

講師：鈴木明子さん（プロフィギュアスケーター）



自分のペースで自分の特性を生かすこと、好きなことをやること、壁を乗り越える秘訣、本番で力を発揮する方法などについてご講演をいただきました。

「何に対しても習得するのに時間がかかるタイプだったが、時間がかかってもコツコツとやり続け、継続すればできると自分の力を信じていてくれる人が周りにたくさんいてくれた。それが力となって、自分の自信にもつながり、心が折れずに、がんばることができた」とお話されました。現在は振付師として子どもたちとかかわっていらっしゃいます。できなかったことばかりに目をむけるのではなく、できたことをきちんと伝えるようにしたり、子どもたちと積極的にコミュニケーションをとり、できるようになるためにはどのようにしたらよいか一緒に考えたりして、サポートしているそうです。

「子どもも大人も、夢を持ち続けて、小さくてもいいからやりがいのある人生を送ってほしい」という言葉をいただきました。参加者一人ひとりが、日々向き合っている家族や子どもたちを思いながら、子育てや家族とのかかわり方について、考えるひとときとなりました。

## 基調提案

---

「一人ひとりが自立し、ともに生きる力をどう育てるか  
—自分らしく生きることを考える実践を通して—」

女性部が30年以上にわたりすすめている「ジェンダー平等教育」について提案されました。

中学校1年生を対象に「自分らしさを大切に、主体的に生き方を選択できる生徒の育成」をめざして、ジェンダー平等について考えた実践報告がされました。授業で活発なグループ活動が行われ、自らがもっているジェンダーに関する固定観念や偏見に気付くとともに、自分だけでなく、「みんな」が自分らしく生きることができる社会を実現するために、何ができるかを考える生徒の姿が報告されました。

## 分散会

---

テーマ：「豊かな心を育もう 自分らしく生きる力を」

「自分らしく生きるとはどういうことか」「子どものために、保護者として教職員としてできることは」という観点で、グループ討議が行われました。自分らしく生きることに対しては「自分で決断し、自分の気持ちを話すことができる」「いろいろな自分があることを認める」「好きなことを見つける」などの意見が出されました。そして、目の前の子どもたちに対して、「子どもの可能性が広がる環境を整え、応援していく」「子どもを信じ、味方となる存在でいる」「大人が自分らしく生きて、その姿を見せる」など、保護者として、教職員として、どうあるべきかを考える場となりました。

## 参加者の声

---

- ・鈴木明子さんの生き方を通し、「未来は変えられる」「楽しいことのためなら努力を続けられる」などの言葉が印象に残りました。自分自身にもまだ伸びしろがあることを信じ、現状に甘えることなく成長していきたいと思います。
- ・鈴木さんの努力がすばらしかったこと。それに加えて、周りの大人が道筋をたて、鈴木さんに最終選択をさせたことはすてきだと思いました。日々目の前の子どもの応援団となっていくことが大切であると感じました。
- ・自分らしく生きることについて改めて考える機会となりました。愛知県内の保護者と教職員がともに話す場は貴重な機会です、いろいろな視点の意見があり、参考になりました。子どもたちのために、保護者と教職員が共に話し合いながらやっているとよいと思いました。
- ・「自分が自分らしく」ではなく、「みんなが自分らしく」という言葉が印象に残りました。そのために、自分を自分で認めることはもちろん、周りのみんなのことも尊重し、認め合っていくことが大切だなと改めて感じました。